

第6学年〇組 道徳学習指導案

平成29年〇月〇日（〇）

指導者 教諭 須賀 由美

- 1 主題名 自分の目標に向かって 【A 希望と勇気、努力と強い意志】
- 2 ねらい 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。

教材名 道ひとすじに ―日本最初の公認女性医師 荻野吟子―

（出典： 彩の国の道徳「夢にむかって」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

この時期の児童は最高学年という自負をもち、これまでいろいろな目標に向かってチャレンジしてきた。学校生活を離れても、様々なことに興味・関心をもち、興味のあることには意欲をもって取り組む姿が見られる。（中略）。目標に向かってコツコツと努力をし、困難を乗り越えてそれを達成する喜びを感じることが、自己の成長につながることを理解させるため、学級担任と一緒に話をしながら日々取り組んでいる。

より高い目標をもって努力することは、自分自身を向上させるために大切なことである。しかし、その目標が高ければ、実現させるための障害も大きくなる。目標の実現のためには、日頃の努力と、達成しようとする強い意志が必要であり、高い目標とそれに向かって努力することの大切さに気づかせたい。

※小中との関連・系統性

A 〔希望と勇気、努力と強い意志〕

〔第1学年及び第2学年〕

自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。

〔第3学年及び第4学年〕

自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。

〔第5学年及び第6学年〕

より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。

〔中学校〕

より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

（2）これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、素直で明るく、元気いっぱいである。（略）。

本時の学習に関する「より高い目標をもち、困難があってもくじけずに…」ということについては誰かが適切な時に評価をしないとすぐにあきらめてしまう傾向が強い。一度決めたことをやり通すことは大切なことだと頭ではわかっているものの、す

ぐにくじけてしまう様子が多々見られる。「どうせ無理。」といって自信を失い、あきらめてしまう児童が多いことから本時の学習を通して、くじけずに努力をし、物事をやりぬく素晴らしさと自分にもできるんだという前向きな気持ちをもたせたい。そして、自分に誇りをもって卒業し、自分の夢に向かってさらにたくましく取り組む中学生になってほしいと願っている。

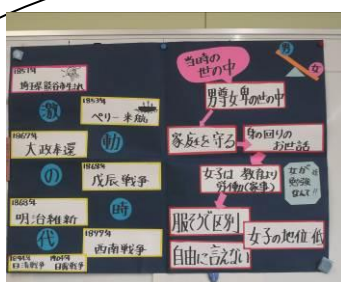
(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、日本最初の公認女性医師「荻野吟子」の話である。埼玉県熊谷市生まれ、自分の夢を実現させるためにたくさんの困難に立ち向かい努力を重ねていった実在する人物である。埼玉県民の大先輩なのである。若くして病気になり、苦しい闘病生活を過ごし、同じ苦しみをもつ女性を救いたいと決意した吟子は、自分の夢を実現させようと挑戦するが、進もうとするその道は困難の連続である。それでも自分の夢をあきらめることなく、ついには医者の道がひらけることとなるのである。

主人公の生き方から自分の目標を立て、くじけずに実行力をもって前進していくことの大切さを学ばせたい。

- ①主人公吟子が周囲に反対されながらも、苦しむ人々を助けたいと思う吟子の強い意志を感じ取らせる。
- ②意思を貫きたいが、努力してもかなわない現状に苦悩している吟子の心の葛藤を考えさせる。
- ③惜しめない努力と周囲の人々の協力により、自分の夢をかなえることができた吟子の喜びに共感させる。
- ④夢や目標を達成するために、心がけていきたいことを考えさせ、その夢や目標を実現するために努力していこうとする意欲を高める。

4 学習指導過程



当時の背景がよくわかるようにするため、時代の流れと、本人の出来事や女性の地位の低さをとらえさせる。

(1) 事前の学習

社会科の学習を通して、吟子がいた当時は女性の地位がかなり低かった時代背景をおさえておく。

荻野吟子を身近な人ととらえるようにするため、生まれ故郷の熊谷についてふれておく。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	○主な発問 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価	教材 時間
つかむ	1 アンケートの結果を見て気付いたことを話し合う。	○くじけそうになったことがありますか。	○アンケートの結果を提示し、ねらいとする価値への方向付けをする。	アンケート結果 3分
児童の夢を事前に把握し、夢に向かって前向きに取り組もうとしている児童とそうでない児童が誰なのか事前に把握しておくことで授業後の変容がわかるようにした。 ※アンケート資料参照				
見通す	2 登場人物、スタートの条件・状況を把握する。	主人公 荻野 吟子 相方 家族 男子生徒 条件・状況 ・4年間の苦しい病気との戦い ・熱心な勉強、成績優秀 ・つらい女性の気持ち→救いたい ・医者志望に反対される→何で女が医者になるんだ		場面絵 7分
	3 教材の範読		○主人公の心の動きを考えながら聞かせる。	
	4 話題の整理と確認	○吟子のしたことや気持ちで印象に残ったことを発表しましょう。 ・頑張ろうとしているのに家族に反対される吟子の気持ちを考えたい。 ・男子の格好をして学校に通っている時にかかわれてしまう吟子の気持ちを考えたい。	○場面絵を示しながら話し合いたいところを決められるようにする。 ○児童の感想から話し合いの柱を立てるようにするが、意見が少ないときは、教師からも提示する。 ○話し合いの観点を3つに整理し、確認する。	どこについて話し合いたいか自分の考えを明確にするためネームプレートを用いる。

		・何度も願書を出す、もどされてしまう吟子の気持ちを考えたい。 ・ようやく医者になれた吟子の気持ちを考えたい。	★児童の思いが適切に話題に位置づき、吟子の心の内を考えたいという意欲が高まったか。 (発言・表情)	
考える	5 吟子の心の変化を中心に話し合う。	○頑張ろうとしているのに家族に反対される吟子の気持ちを考えましょう。 ・何で応援してくれないんだろう。 ・さびしいな。 ・つらい思いをしている人のために私が頑張らないといけない。 ・あきらめないぞ。 ○男子の格好をしても学校に通っているときからかわれてしまう吟子の気持ちを考えましょう。 ・もういやだ。 ・どうして女だからって指を指されなくちゃいけないの。ひどい。 ・女が勉強をするのってそんなにいけないことなのかな。 ○何度も願書を出す、もどされてしまう吟子の気持ちを考えましょう。 ・こんなに頑張ったのにどうしてこんなことになるんだろう。 ・せっかくここまで頑張っ	○家族に応援をされず、自分の夢を反対されてとてもつらい気持ちになっている主人公の気持ちに十分に共感させる。 夢を持つ一人の女性に対し、自分と同じなんだという気持ちをもたせる。 ★吟子の気持ちに共感できたか。(発言・表情) ○まさに男の格好をしなければ学校に通えない屈辱的な状況をおさえるとともに、勉学にはげむものの、指をさされて笑われている吟子の気持ちを考えさせる。 時代背景や女性の地位の低さをしっかりと前時でおさえることで、屈辱的な吟子の気持ちが児童からたくさん出てくる。 ★吟子の屈辱的な気持ちに共感できたか。 (発言・表情) ○ようやく学校を卒業したのに、医者になれず、それでも自分の夢をかなえられるようにいろいろな方法を考えてでも医者になりたいという吟子の気持ちを考えさせる。	場面絵 25分

		たのだから何としてでも医者になりたい。 ○応援してくれる人や家族は、吟子にどんなことを言いたいと思いますか。 ・ここまできたのだから。 ・あきらめないでがんばって。 ・あなたが医者になることは私達の夢でもあるのよ。 ・あなたが人を助けたいように私もあなたを助けたい。	○応援してくれる人や家族は、吟子に何を伝えたかったのか押さえるため、グループで話し合いをさせる。 グループでしっかりと話し合わせるために事前に人間関係等を考慮した。立場や見方を変えることにより思いを支えている人がいることも気付くことができる。 ★吟子の思いを支えたい人々の気持ちを考えて話し合うことができたか。 (発言・表情)	
深める	6 今日の学習やアンケートを振り返り、粘り強くやり抜くためにはどんな気持ちが必要なのかを考える。	○粘り強くやり抜いたこととその時の気持ちも紹介します。 ・大変だったけど続けてよかった(うれしい)。 ・あきらめずにやってよかった。(結果が出てうれしい) ・誰かが応援してくれたから頑張れた。(応援してくれてありがとう)。 ○今日の学習で気付いたことを書いてみましょう。 ・どんな偉い人でも、何度もくじけそうになったんだな。 ・くじけないで頑張った人がいたから、今の私達の	○アンケートの結果を振り返り、粘り強く取り組んでよかったことを気づかせたい。 ○机間指導をしながら、一人一人が書いている内容を把握する。 ★自分自身を振り返り、日	ワークシート 7分

		ように自由なことができるんだな。 ・だめだとすぐにあきらめちゃったらいけないな。 せっかくの夢がもったいない。	常の生活にいかそうとする気持ちが高まったか。 (ワークシート)	
ま と め る	7 教師の話を聞く。		○児童の心に響かせ、実感を伴って終われるようにする。	1 分



アンケートから、一人一人の夢について把握できたので、困難があってもくじけずに強い意志をもち、やり抜こうとする心情を大切にさせるため励ましのメッセージカードにして渡した。

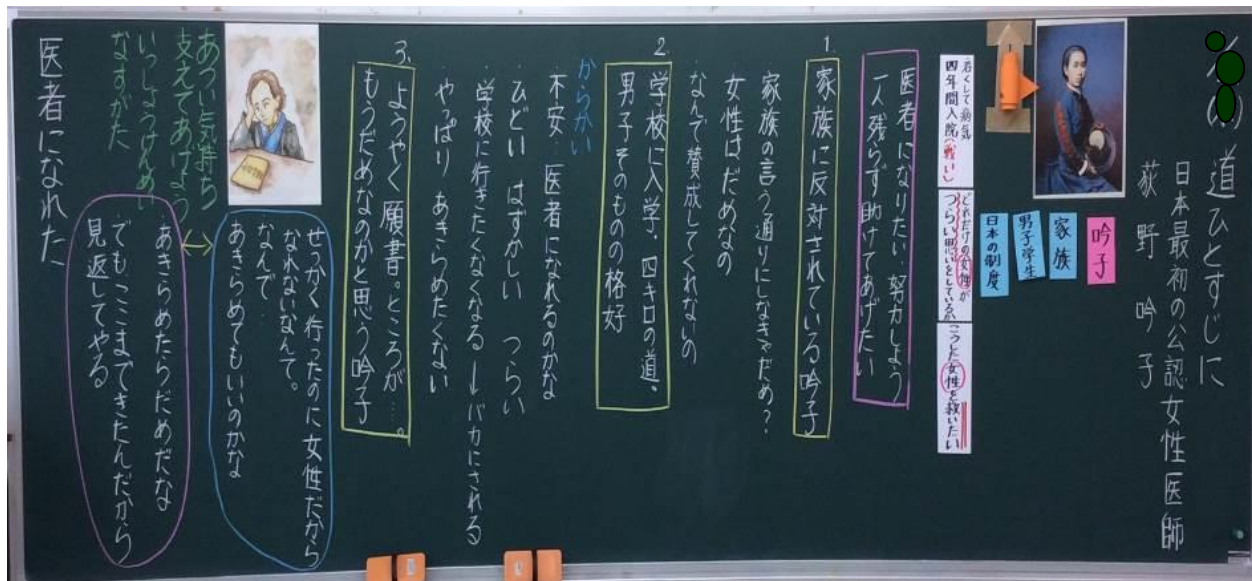
「自分の夢を応援してくれている人がいるんだ。」と感じた児童もいた。また、そう感じたことから泣いている児童もいた。

5 本時の評価

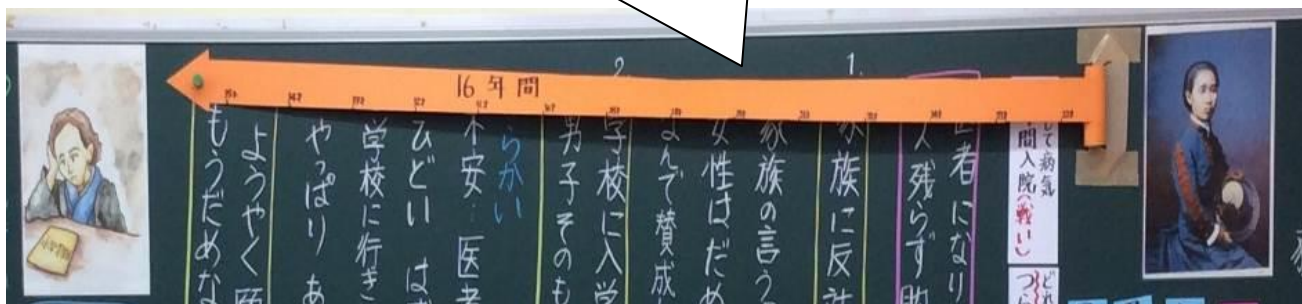
(略)

6 事後の指導

- ・卒業文集で自分の夢に向かって作文を書くときに本時の学習を想起させ、児童が意欲をもって取り組めるように工夫する。
- ・アンケートの結果や授業内容を懇談会などで話題にし、家庭でも児童の夢について話す時間をもってもらうとともに、困難に立ち向かうことの大切さを話題にしてもらうよう、協力を仰ぐ。



16年間という長い時間を一目で感じられるようにするため
色画用紙でテープを作り視覚的な掲示の工夫をした。



名前

○あなたの夢を教えてください。

○それがかなったら何をしたいですか。

○その夢をどうしてもかなえるためには、
どうしたらいいと思いますか。

○あきらめなきゃよかったなと思ったことは
ありましたか。それはどんなことでしたか。

○あきらめなくて頑張ってよかったなあと思うことは
ありましたか。それはどんなことでしたか。